東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

キャリアアップMOTプログラム
2019年度エッセンシャルMOTコースのご案内

東京工業大学　環境・社会理工学院
技術経営専門職学位課程

Tokyo Institute of Technology
School of Environment and Society
Technology and Innovation Management
CUMOT Program

CUMOT

技術経営専門職学位課程主任挨拶

先行きが不透明な中で未来を切り拓いていくため、産業・企業にとっては既存ビジネスの再構築や新ビジネスの創造が大きな課題となっており、イノベーションを創出する技術経営（MOT）がますます重要になっています。キャリアアップMOT「エッセンシャルMOT」コースは、次世代の企業経営を担う人材がMOTのマネジメントのエッセンスを学び、キャリアアップを図ることを目的としています。

環境・社会理工学院　技術経営専門職学位課程において、現在、技術経営を学んでいる学生の多くは社会人学生です。そこには様々な分野、企業・団体から修士、博士学生がMOTを学び、学びを通じた修了生を含めた新しいネットワークが生まれています。本プログラムも同様に、多くの方々がMOTを修得することによってキャリアアップを実現されるとともに、その学びを通した交流で人的ネットワークを構築し、イノベーションを創出する場となることを期待しています。

技術経営専門職学位課程主任
後藤美香

エッセンシャルＭＯＴコース（12期生）募集要項

プログラム受講期間

2019年4月 ～ 2020年2月
月3～4回　全36回　水曜　19時～21時（予定）

※講義のほか、グループ課題等の提出を前提とした自宅学習を想定しております。
※科目によってはスケジュールや学習内容が一部、変更になる場合があります。
※3月27日（水）に受講ガイダンスを開催予定です。

受講対象者

・次世代の企業経営を担う社会人の方
例）若手後継者、技術系管理職、幹部候補生、経営企画職、ベンチャー企業経営者、等
・「教わる」ではなく自ら「学ぶ」という意識をお持ちの方

受講場所

東京工業大学田町キャンパス（東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター）
※詳細は交通案内をご覧ください

申込期間

2019年1月14日（月）～2019年2月8日（金）
（締切日必着）

受講料

240,000円+税
※お支払い方法については開講後（4月1日 ～ 4月15日まで）に振込みにて手続きをしていただく予定です。お振込み後の受講料の返還はいたしませんのでご了承ください。

募集人数

20名（最大24名）

申込方法

願書に必要事項をご記入のうえ下記の住所までお送りください（締切日必着）。願書はwebサイトからダウンロードできます。

〒108-0023
東京都港区芝浦3-3-6 CIC705
CUMOT事務局
エッセンシャルMOTコース受講申込

受講審査・受講通知

願書をお送りいただいた後、志望理由書ならびに推薦状にもとづく書類審査をいたします（一括審査）。受講通知についてはメールまたはお電話にてご連絡いたします（後日、受講許可証を通知）。

お問い合わせ

東京工業大学 環境・社会理工学院
技術経営専門職学位課程　CUMOT事務局
問い合わせ先E-mail：
cumot-info@mot.titech.ac.jp
WebサイトURL：
http://www.academy.titech.ac.jp/cumot/

※1/25（金）19時～　田町キャンパス310教室（3階）にてプログラム説明会を開催予定です。詳細・最新情報についてはWebサイトをご覧ください。

プログラム修了の認定

修了者には「修了証書」を交付いたします。評価については、出席状況を含め、コースごとに行います。

プログラムの概要

一年間の流れ

年間スケジュールと担当講師（予定）

月	講義名	担当講師	所属
4月	イノベーション論（講義&演習）	藤村 修三	東京工業大学 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 教授
5月	企業戦略とイノベーション（講義&演習）	辻本 将晴	東京工業大学 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 准教授
6月	イノベーションのための知識工学（講義&演習）	梶川 裕矢	東京工業大学 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 教授
7月	人財/組織ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ（講義&演習）	小田 理一郎	有限会社 チェンジ・エージェント 代表取締役社長
8月	ﾋﾞｼﾞﾈｽｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ1 企業経営（ｸﾞﾙｰﾌﾟ演習1）	白井 宏明	横浜国立大学 名誉教授
9月	ﾋﾞｼﾞﾈｽｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ2 企業戦略（ｸﾞﾙｰﾌﾟ演習2）	中野 健次	元 東京工業大学情報理工学院情報工学系 特任教授
10月	ﾌｧｲﾅﾝｽ&ｱｶｳﾝﾃｨﾝｸﾞ（講義&演習）	杉山 慎治	ソニー銀行株式会社 常勤監査役
11月	連携型イノベーション戦略（講義&演習）	田辺 孝二	東京工業大学 名誉教授／環境・社会理工学院 特任教授
12月	ﾋﾞｼﾞﾈｽｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ3 事業評価（ｸﾞﾙｰﾌﾟ演習3）	名田 秀彦	インテグラート株式会社 エグゼクティブコンサルタント
1月	知的財産戦略ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ（講義&演習）	京本 直樹	京本特許事務所所長
2月	事業開発・ｱﾝﾄﾚﾌﾟﾚﾅｰｼｯﾌﾟ（講義&演習）	仙石 慎太郎	東京工業大学 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 准教授

※東工大技術経営専門職学位課程教員のプロフィール詳細は、http://educ.titech.ac.jp/isc/faculty/research_lab/ をご参照ください。
※スケジュールは科目の実施月の目安です。スケジュールの詳細は、
http://www.academy.titech.ac.jp/cumot/data/es/cumot_ES_2019-schedule.pdf をご参照ください。
※所属等は2018年12月現在のものです。

学習形態と1ヶ月間の流れ

学習形態は科目によって「講義＆演習」と「グループ演習」の2パターンがあります。1科目の学習の流れは表のようになっております。※科目によっては、一部、内容が変更される場合があります。

学習形態	1週目	2週目	3週目
講義＆演習	各教科分野に関する基礎知識を受講し、課題が提示されます。		課題発表とQ＆Aおよびディスカッション、講評を行います。課題発表を踏まえたまとめの講義なども行います。
（自己学習）	学習者は、自らの既得知識レベルや週末などの自由時間に合わせて推奨書籍やeラーニングコンテンツ等（学習環境は自己負担）によって個別学習をします。また、提示された課題を検討します。		
グループ演習	テーマごとにシミュレーションツールを用い、課題を提示し、グループ学習をします。	グループ別に課題を討議し、発表用資料を検討・作成します。さらに各自、週末などを活用して議論の質を高めながら、発表用資料を更新していきます。	発表＆講評
（自己学習）	週末などの自由時間に各課題について各自、検討します。webベースで意見交換、ファイルの共有等を行います。		

事業担当からのメッセージ

比嘉 邦彦 教授
Kunihiko Higa Ph.D.
東京工業大学 環境・社会理工学院
技術経営専門職学位課程

主な研究テーマ
2つのクラウドによる経営革新，組織戦略としてのテレワーク，持続可能な地域社会モデル，E-コマースの評価・分析モデル，分散環境におけるコミュニケーションと情報共有支援システムなど.

メッセージ
社会人の方が働きながらMOTのエッセンスを学ぶ機会をご用意しました。受講者にとって価値ある知識の修得と人脈の構築にお役立ていただければと思います。他にも社会人の学習機会として、MOTに関連する分野特化型プログラムも複数提供して受講生の皆様方から大変な好評を得ていますので、是非、継続学習にご利用下さい。

講師代表からのメッセージ

藤村 修三 教授
Shuzo Fujimura Ph.D.
東京工業大学 環境・社会理工学院
技術経営専門職学位課程

担当科目　イノベーション論

主な研究テーマ
イノベーション理論，アーキテクチャ理論，高次産業創造過程，技術者の社会的役割，イノベーション推進人材の育成，イノベーションに対する大学の役割，など

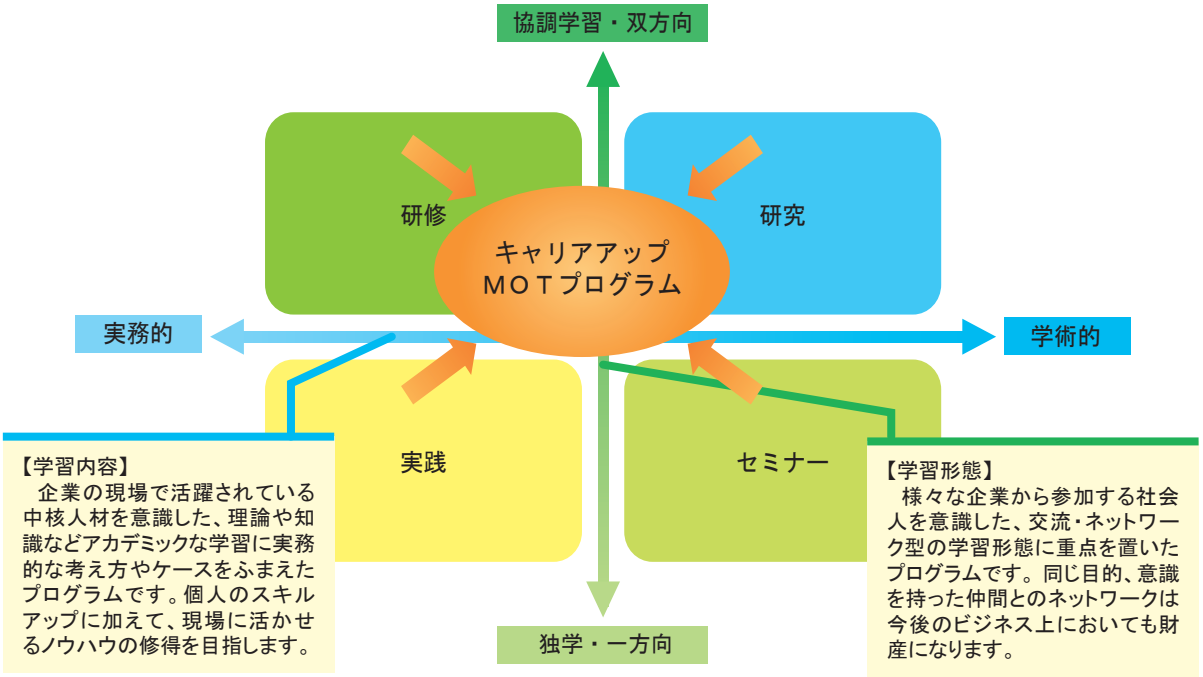
メッセージ
IT技術の進歩に伴い、キャッチアップ・スピードが上がり、一つの優位性により利益が得られる期間は大幅に短縮しています。企業が利益を生み発展を続けるには、革新により差異を生み出し、利益に繋げることが求められます。利益に繋がる革新、これがイノベーションです。講義ではイノベーションを高い確率で実現する経営について共に考えて行きたいと思っています。

プログラムの特徴

キャリアアップMOTプログラムの位置づけ

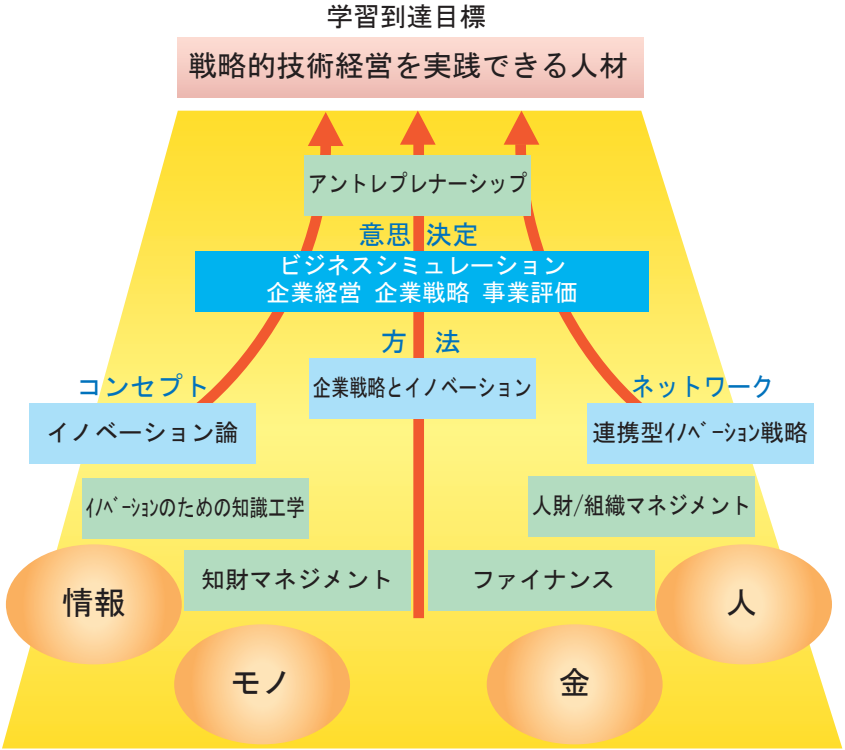
本プログラムの位置づけ

キャリアアップMOTプログラムは、本学の技術経営（MOT）教育ノウハウ、現場・実践を意識したカリキュラム（シミュレーション、ケース教材）、少人数制による質の高い講義と相互学習を通じて、次世代の企業経営を担う中核人材のキャリアップを支援します。
「エッセンシャルMOTコース」の他、「知的財産戦略コース」など、MOTに関連する分野ごとのプログラムも提供しております。



カリキュラムマップと学習到達目標

エッセンシャルMOTコース



科目の学習目標の例（2018年度）

イノベーション論

- 本カリキュラムでMOT（技術経営）を１年間を学習するスタートに当たり、MOTの役割や意義を理解する。
- 企業および社会におけるイノベーションとそれを生み出す研究開発の課題を理解する。

企業戦略とイノベーション

本科目の学習目標は３点です。第一は、経営戦略論という広範囲で複雑な分野の全体像を把握することです。第二は経営戦略論の各論についてのディスカッションを行えるようになることです。第三は経営戦略論の先端的な分野の一つであるエコシステム論について理解し、オリジナルな調査による発表とディスカッションができるようになることです。

ビジネスシミュレーション１ 企業経営

コンピュータ上に構築された仮想の市場での企業経営を通じて、①PDCAサイクルの実施能力，②コンピュータツールの実践的活用能力，③グループディスカッション能力，④プレゼンテーション能力など，問題解決型人材に必要となる実践的能力の向上を目指す。

プログラムの特徴

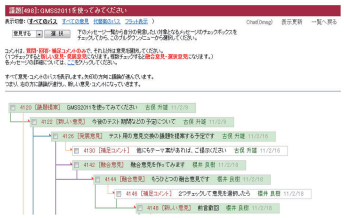
学習支援システム/受講実績

講義中ならびに自己学習を支援するシステムです。

学習支援システム

グループ学習支援システム（GMSS：Group Memory Support System）は、Web上でディスカッションや意見交換ができ、インターネット環境があれば距離的・時間的制約を緩和できます。

あるテーマについて、グループを作成し、限定したメンバー内で、深くディスカッションすることができます。「議題」を提案し、その議題に対してグループメンバー間で意見交換を行います（発言する）。発言の際に「新しい意見」「融合意見」など発言内容の種類を選択することになっており、これにより議論が構造化（可視化）されます。限られた学習環境において学習利便性を高めます。

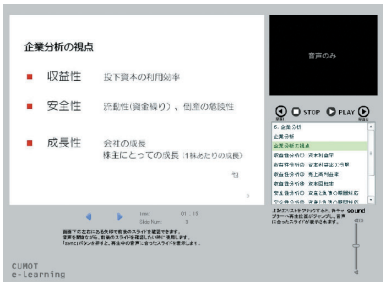


自習用教材

自己学習用にeラーニング教材、ケース教材、DVD教材をご用意しております。

【eラーニング】
・ファイナンス＆アカウンティング（10テーマ、各10分程度）
・知的財産戦略マネジメント（7テーマ、各15分程度）

【CD教材】
・マーケティングCD教材の視聴（貸与）が可能



受講実績

【受講者層のご紹介】
これからマネジメントを担っていく若手から、経営者として活躍されている方など技術経営のエッセンスを体系的に学びたい社会人の方が参加しています。
所属先は大手企業にお勤めの方が6～7割、中小・ベンチャー企業にお勤めの方が3～4割です。業種は製造業、サービス業、コンサルタント業などで、職種も経営者、マネージャー、研究職、企画職など多岐に渡ります。
MOTの学びを通じて仕事上の課題解決や自らのスキルアップを図るなど、高い学習意欲を持つ方々が参加しており、受講生同士の交流はお互いの刺激にもなっています。

【受講者の声】（受講アンケートより）
・イノベーション論では詳しい理論があるわけではなく、自らがイノベーションを考えなければならないということを肌身で感じられた。
・品質マネジメントの考え方が、非常に広い適用範囲を持っていることがわかった。
・一般論だけでなく実際の事例と結び付けて話をしていただいたので仕事にフィードバックすることができた。
・とくにグループディスカッションでは密度の濃い議論ができて、効果的に結論に近づくことができ、今後の課題も出てきた。職種の違う方からの意見が自分の視野を広げるのに役立ち、大変満足している。
・学習支援システム（GMSS)は、議論のパスが見えたお蔭で、議論の流れがとてもわかりやすかった点がよかった。
・現在携わっている業務とは全く違う分野の話しも多く、大変刺激になりました。これから先、何か新しい分野（勉強でも仕事でも）に挑戦していく勇気をいただいたと思います。今すぐとりかかれなくても、視野を広げることができ、これから先、物の見方、考え方など参考になることが多かったと思います。

アンケート結果 （受講経験者平均 n 141）	5 段階評価
「エッセンシャルMOT」の授業の総合的な満足度はどのくらいですか。	4.2
「エッセンシャルMOT」の授業で学んだことが今後自分の業務に役立つと考えていますか。	4.3
キャリアアップMOTとして働きながら技術経営を学ぶことは、ご自身のキャリア形成※に影響があったと思いますか。 ※昇進や転職などに限らず、職業や働き方に対する考え方の変化も含めます。	4.4

交通案内

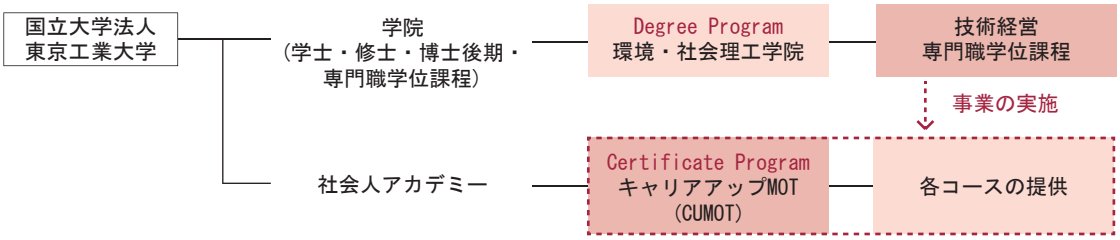
環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程とは

2005年4月に大学院イノベーションマネジメント研究科（MOT専門職大学院（専門職学位課程（修士）・技術経営専攻/博士後期課程・イノベーション専攻）が創設されました。2016年4月の本学の教育改革に伴い、技術経営専攻は環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程となりました。同課程では、技術や経営に関する卓越した知を創造し、新規事業やプロジェクトを戦略的に設計・立案し実行していく実務家、科学・技術知の創造を促し、科学・技術知の社会化・産業化を通じて豊かな社会を実現するイノベーターを養成します。

※詳細は下記のURLよりご覧ください。
http://educ.titech.ac.jp/isc/

実施体制

キャリアアップMOTプログラムは東京工業大学社会人アカデミーのもと、環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程が事業主体となり運営いたします。

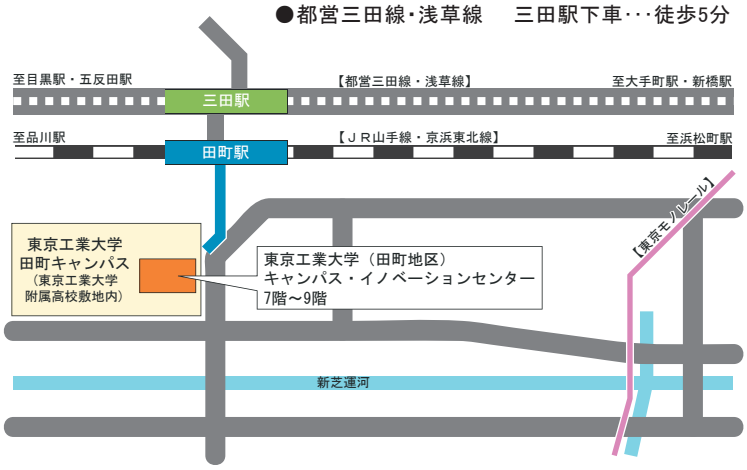


交通案内

■田町キャンパス

所在地：〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6
キャンパス・イノベーションセンター

●JR山手線・京浜東北線 田町駅下車・・・徒歩1分
●都営三田線・浅草線 三田駅下車・・・徒歩5分



キャンパス・イノベーションセンター

※各キャンパスの詳細は下記のURLよりご確認ください。
http://www.academy.titech.ac.jp/cumot/access.html

東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

東京工業大学　環境・社会理工学院
技術経営専門職学位課程
CUMOT
URL: http://www.academy.titech.ac.jp/cumot/
E-mail: cumot-info@mot.titech.ac.jp

<2018年12月作成>

プログラム説明会（実施予定）

1/25（金）19時～　田町キャンパス310教室（3階）にて説明会を予定しております。参加申込はWebサイトより受付しております。最新情報はWebサイトをご参照ください。

東京工業大学　環境・社会理工学院
技術経営専門職学位課程　CUMOT事務局
問い合わせ先E-mail：cumot-info@mot.titech.ac.jp
WebサイトURL：http://www.academy.titech.ac.jp/cumot/